



フランス便り



2024年06月最終回

フランス便りもついに最終回を迎えました。今回はこのフランス留学を通して私がどのようなことをしたのか、何を得たのかをピックアップして書きたいと思います。

はじめ

私は9月3日からフランスで1年間の留学生活を始めました。私はストラスブルという街で、8人家族の家にホームステイしました。初めは言語力が追いつかずいつも話している事が分かりませんでした。日によっては、1日の間で1分から2分ほどしか話さない日もありました。ホームステイ先の方の友人や他の留學生が来たりと、フランス語のみの中で生活するのはとても辛かったです。また、授業に行っても何も分からず、とりあえず「oui」を言うだけで乗り切っていた日もありました。私は幸いなことに日本人が同じ学校に居たため、沢山助けてもらうことが出来ました。



スイスへ

ホームステイ先のご夫婦と三人でスイスのバーゼルという街に行きました。美術館へ行き、お昼はサンドウィッチを食べ、その後街の中を案内してもらいながら観光しました。スイスはアニメ「アルプスの少女ハイジ」のイメージが強かったので、山が多いのだろうと思っていたのですが、私が行った場所は比較的現代的な建物が多かったです。1つ1つの物がすごく高くて宝石や日常品だけでなく、食べ物もすごく高かったです。

Bouchemaine へ!

12月9日から1月5日までの間は学校が休みだったため、親戚が住んでいる Bouchemaine に行きました。ここはストラスブルと違いとても静かな街で、高い建物はなく自然に近い場所が多くありました。また近くに川があり、冬になると川の水が増水するそうで、道がなくなる光景がとても綺麗でした。また水位が上がる事で川に住んでいる動物たちに出会うこともでき、とても楽しかったです。クリスマスも親戚の家で過ごし、エスカルゴも食べました。





新年会

私の中国人の友達の開催した新年のパーティーに呼んでもらいました。同じ語学学校に通う人が集まって話したり、ゲームをしたりしました。私は少し早めに行き友達と一緒に餃子を作りました。私の家庭では餃子を食べるとき、餃子の皮は買うのですが、友達も皮から手作りしており、さすが本場だと感じました。中国では餃子の中に一つだけあたり餃子を作るためにお金を入れるそうです。フランスの文化ではありませんが他国の文化を学べた上、新しい友達も作れて良かったです。

カーニバル

ホームステイ先の兄弟と一緒にスイスのカーニバルに行きました。カーニバルは朝4時開始なので、私たちは1時半に家を出て電車に乗り、スイスに向かいました。このカーニバルはスイスの大きなお祭りの一つで、毎年沢山の人が訪れるそうです。朝4時になると一斉にすべての明かりが消え、ランプを持ち、仮面をかぶった人たちが音楽を演奏しながら街中を歩きます。お昼になると、神輿のような車に乗った人たちが来て、お菓子やフルーツ、キーホルダーや花などを紙吹雪とともに車から撒きます。子どもからお年寄りまで集まり、みんなそれらを集めます。このカーニバルは毎年行われるそうなのでいつかまた、行きたいなと思いました。



パリ旅行

日本から友人が遊びに来てくれた為、私は友人達と3人でパリ旅行をしました。私にとっても初めてのパリで朝から晩まで楽しみ尽くしました。ルーヴル美術館とオルセー美術館、ヴェルサイユ宮殿に行きました。ルーヴル館でもルーヴル美術館は絵画や彫刻、昔の道具やアクセサリなど沢山の種類の物が展示されていました。一方でオルセー美術館は絵画中心で一人につき複数の絵画が飾られていました。ヴェルサイユ宮殿は宮殿と言うだけあり沢山の部屋がありました。その中で私はベッドの小ささに驚きました。昔の人は小さいと言いますが、子供用のベッドといわれても納得出来るくらい大きさでした。私たちはパリからバスを片道5時間ほど乗り継ぎ、モンサンミッシェルにも行きました。観光中の天候はよくありませんでしたが、帰り際以外は雨が降ることもなく良かったと思います。また、シャンゼリゼ通りと凱旋門にも行きました。運良く、歩行者天国だったため、ストリートアーティストのダンスを鑑賞することが出来ました。

イースターと私の誕生日

今年のイースターの日付と私の誕生日が同じ日だったので、二つの出来事を祝ってパーティーをしました。日本と違いイースターは盛大にお祝いするのがフランス流だそうで、両親は朝から庭に卵形のチョコレートを隠し子ども達がそれを探すそうです。このイベントはいつになっても行うそうでホームステイ先の兄弟が大きくなった今でも毎年行っているそうです。また、家庭内だけでなく、街の協会に行ってもチョコレートをもらえるそうです。また、誕生日という事でケーキも作ってもらいました。誕生日は毎回、母親がケーキを作っているそうで、私のリクエストに沿って作ってくれました。



フライブルク(ドイツ)

私はドイツに住んでいる友達に会いに行くためにフライブルクという街に行きました。ここは私の留学しているストラスブールという街から車で1時間半位のところにある街で、観光スポットは多くないものの沢山の自然に囲まれたとても良い街でした。どの場所に行くのも遠くなく、自転車や路面電車があれば車がなくてもある程度の場所まで移動することが出来ます。私は連日山にハイキングに行って山頂からの景色を眺めながらリラックスしたり、近くにある湖で泳いだり、SUPをしたりしました。テーマパークやショッピングモールはないものの、十分に楽しめる場所があると感じました。また、市場も活気がありそこで買い物をするのもとても楽しかったです。

まとめ

私はこの留学生活で沢山の事を体験しました。初めての海外、初めての家族と離れての長期生活で沢山辛いことも、学んだこともありました。日本で当たり前だと思っていたことがここでは当たり前ではなかったり、言語がうまく話せない中での友達や家族とのコミュニケーションの取り方に戸惑ったり、沢山の困難にぶつかりました。しかしその分、得た物もとても多かったです。また、何事にもチャレンジしてみることで思いもよらない良い結果が待っていたり、チャンスが訪れたりすることにも気づけました。去年の9月からフランス便りを書いてきて、自然と得た知識だけでなく、自分で何か追加事項を調べることで本当の意味で知識が付くのだと感じました。最後に、私のフランス便りを見てフランスに興味を持った人は是非旅行でも留学でも良いので訪れてみてほしいと思います。私は1年間フランスに留学をして本当に良かったと思います。